

# NKオンリーワン通信

VOL. 33

発行：新潟北高等学校

24061233

本校では先日体育祭が開催され、その関連記事は、前号で紹介させていただいた。巷では「成功の陰には〇〇あり。」とちまた言われているが、本校の体育祭として例外ではなく、その成功の陰にはPTA・後援会の皆さんたちが休み返上で屋外大清掃に取り組んでくれた故である。



支える：！



【指示を受け、さあ作業開始!!】



【見落としのないように～】



6月3日（日）のPTA学年部が主催した屋外大清掃に参加した保護者 15名、後援会の田澤副会長さん、そして本校職員3名で作業開始。あるわ、あるわ(@\_@)短時間の作業であったが、その成果はご覧のとおり。しっかり分別して解散しました。参加していただいた皆さんに感謝申し上げます。「ありがとうございました m(\_ \_)m」



皆さんはご存じだろうか？7月末から8月中旬にかけて本県を中心に北信越各地で高校生スポーツの祭典「全国高校総体（インターハイ）」が開催されることを！今、総体は「**2012北信越かがやき総体**」の愛称で、大会スローガンは「**君は今希望とともに 緑の大地をかけぬける**」であり、まさに震災からの復興に立ち上がり、未来に向けて希望を持って今を生き抜く若者の姿を表し、そうすることによって必ずや「かがやく未来」が待っていることを表現している。

およそ50年に一度の祭典に立ち会えることに感謝しつつ、県が推進している高校生活動の取組に本校生も協力する形で様々な活動を行っている。その活動の一端を紹介させていただく。



県実行委員会の指導の下、高校生活動の一環として本校でも本県に来県される全国のアスリートたちの記念品として「希綱ブレスレット」を制作することとなり、そのすべてをボランティア部員が一手に引き受けてくれた。数日かかって、やっと袋詰めまでこぎ着けることができたのは、体育祭も無事終了した11日のことである。

くちを動かしながらも手を休めることもなく、一心不乱??に作業して

いる姿は、高校生の素晴らしさを感じさせてくれた。こうした取組は前向きにとらえてやりきる姿勢が大切であり、面倒くさいと感じた時点でThe endだろう。他人のためにやっている自分では思っていることでも実は自分のためになっていることを認識すべきだと思う。表もあれば裏もある。一辺だけでなく、二辺、三辺とある。これって生き方も同じだと思う。様々な見方を今のうちに体得してほしいと思っている(^^) /



さて、こうした高校生活動は、ブレスレットの制作だけに止まらず、いつまでも心に残る大会を目指してメッセージフラッグリレーや清掃活動等にも全県挙げて取り組んでいきますので、皆さんからもぜひ応援していただきたく思います。

そうした折も折、本校3年生の小林将也君がボクシング競技フライ級での出場を決めたのは本校にとっての朗報だった。

小林君はもちろん、すべての北高生一人一人には支えてくれる大勢の人達がいることを忘れることなく、大舞台で活躍してほしいと願っている。フレー、フレー北高!(^^)!



**この広報は、新潟北高等学校ホームページ**

**[http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top\\_gakkou.html](http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.html)にも掲載しています。**